

第1回烏川・神流川流域治水協議会 議事概要

1. 日時: 令和2年8月19日(水) 15:00～16:00

2. 開催方法: Web 会議

3. 出席者: 協議会構成員

高崎市長 富岡 賢治

藤岡市長 新井 雅博

玉村町長 石川 眞男

神川町長 山崎 正弘(代理: 副町長 田村 敏則)

上里町長 山下 博一

群馬県 県土整備部 河川課長 西澤 洋行

埼玉県 県土整備部 参事兼河川砂防課長 林 雄一郎

(代理: 副課長 武田 敦弘)

国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所長 福井 貴規

4. 確認等事項

- ・「烏川・神流川流域治水協議会」について、設立趣旨、規約(案)について確認し、了承が得られ、協議会が設立した。
- ・流域治水プロジェクトについて、流域治水の考え方等を事務局より説明した。
- ・流域対策について、流域対策の事例、既存制度について事務局より説明した。
- ・協議会の実施事項と今後の進め方について説明し、了承が得られた。

5. 各自治体からの主なご意見

【高崎市】流域治水についての考え方に賛成である。持っている材料は全部出し、協力していきたい。また、具体的な内容や進め方を決めることが必要である。

【藤岡市】協議会の今後の運営について、しっかりと協力させていただきたい。また、災害が起きたときには、市民の命を守ることが一番大事であるので、去年の台風19号の時のように、迅速な情報提供をお願いしたい。

【玉村町】個別対応から広域対応へという形で、全体で対処していこうという考えは、地球温暖化による影響もある中で非常に適切な考えである。町としてもお役に立ちたい。

【上里町】各自治体との、県境を越えた実際の交流がなかなか無いので、流域治水プロジェクトという機会にいろいろな情報交換ができればと考えている。

【神川町】昨今の異常気象は心配であり、早めの情報提供をお願いしたい。また、この協議会を機会に今後流域の市町村等と協力していきたい。

【群馬県】昨年度の台風19号では、大きな被害を受けた。今後、協議会の中で、皆様と一緒に流域の浸水被害を防ぐように一生懸命取り組んでいきたい。

【埼玉県】これからは、市町村と県と国と連携して取り組みを進めていくことが重要である。過去の被害などを参考に、本協議会を通して様々な取り組みをしていきたい。